

# 2022 年度事業報告書

自 2022 年 12 月 1 日

至 2023 年 11 月 30 日

【目的及び事業】 定款 第 2 章第 3 条・第 4 条より

(目的)

第 3 条 当法人は、空間ディスプレイ分野を志す学生、研究者および研究機関等を支援することを通して空間ディスプレイに対する理解の啓発と浸透、空間ディスプレイによる社会貢献の可能性を広げ、もって、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 当法人は、前条の目的を達するため、次の事業を行う。

- ① 日本国内の大学生に対する奨学金の給付事業
- ② 空間ディスプレイに関する研究者および研究機関等に対する研究助成事業
- ③ 空間ディスプレイに関する表彰事業
- ④ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

## I. 事業の状況

### 1. 奨学金支給事業

名称：NCF 奨学金事業

(1) 募集

① 募集対象

奨学金制度の趣旨（「奨学生募集要項」より以下抜粋）に則り、財団指定大学から推薦を受けた新入学生を対象とした。

（抜粋）乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

② 応募時期

2022 年 9 月 1 日～2023 年 5 月 15 日

③ 応募件数

5 大学 8 名

④ 選考経過

2023 年 5 月 15 日以降、財団事務局選考を経て、2023 年 6 月 10 日、財団奨学金

事業選考委員会による選考が行われ、8名が採択されるも、1名辞退。

2023年7月12日、財団理事・評議員会が開催され、7名の採用が承認された。

## (2) 採用

奨学生の採用人数（2023年4月入学）および奨学金給付

### ① 採用 5大学7名採用。（以下内訳）

芝浦工業大学	2名
多摩美術大学	1名
東京造形大学	1名
東京都立大学	2名
武蔵野美術大学	1名

### ② 給付金 1名あたり85万円（以下内訳）

一律月額5万円、入学一時金25万円

継続の場合 2年生～4年生 年間60万円（月額5万円×12か月）給付予定。

## (3) 授与

2023年7月12日、奨学金給付認定書の授与式が執り行われた。学業優先のため欠席となった奨学生全員は、メッセージを寄せ参加した。

## (4) 次回募集開始

対象 2024年4月入学生

募集開始 2023年9月より財団ホームページにおいて、次年度の奨学生募集要項の公開を開始した。

## 2. 助成金支給事業

名称：NCF助成金事業

### (1) 募集

#### ① 募集対象

助成金制度の趣旨（「助成金事業募集要項」より以下抜粋）に則り、当財団が示す空間ディスプレイ分野の研究を志す大学の研究室および当財団が示す空間ディスプレイ分野および関連の教育普及事業(博物館展示を含む)を行う、学会・博物館を対象とした。

（抜粋）乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

② 募集開始

2022年8月、助成金事業募集要項を財団ホームページにて掲載

9月、募集要項チラシを、全国の工学、建築、デザイン関連大学約80か所と、全国の科学系博物館約150か所に送付

③ 応募時期

11月25日、エントリー〆切

12月6日、応募締め切り

④ 応募件数

エントリー件数8件うち6件応募

⑤ 選考経過

2022年12月6日以降、財団事務局にてとりまとめ、2023年1月26日、助成金事業選考委員会による選考が行われ、5件が採択された。2023年2月9日、財団理事・評議員会が開催され、5件の採用が承認された。

(2) 採用

採用件数5件 給付金総額250万円

2023年NCF助成金事業 助成金給付認定者

※敬称略

助成区分	研究機関名	担当者名	テーマ
研究助成	大同大学 工学部建築学科 武藤隆研究室	学科長/教授 武藤 隆	ノコギリ屋根工場跡の再編の試み
研究助成	早稲田大学 創造理工学部 建築学科 渡邊大志研究室	大学院修士課程1年 加藤 彩那	クロスオーバー・アーキテクチャ研究－多機能な「曖昧な立体（部品）の開発・生産・流通による空間的实践－
教育普及活動助成	兵庫県立人と自然の博物館	研究員 衛藤 彬史	持続可能な暮らしと衣・食・住：暮らしの中の実践を促す空間設計～企画展「Upcycle in Hyogo」の開催に向けて～
教育普及活動助成	紅ミュージアム	ミュージアムエディケーター 八木原 美佳	江戸時代の住空間を再現した体験展示におけるワークショップ実践とその考察
教育普及活動助成	貝塚市立自然遊学館	博士研究員 天満 和久	昆虫の前胸にみる造形美とその機能的役割についての3D展示

(3) 授 与

2023年7月12日、助成金給付認定書の授与式が執り行われた。授与式に出席した5件の代表5名に財団理事長より認定書が授与された。

(4) 次回募集開始

- ① 対 象 活動期間 2024年4月～2025年3月の研究及び教育普及活動
- ② 募集開始 2023年7月より財団ホームページにおいて、次年度の助成金事業募集要項の公開を開始した。
- ③ エントリー締切 2023年11月24日
- ④ 応募受付期間 2023年11月27日～12月4日

### 3. 表彰事業

名称：学生卒業設計・制作 NCF 空間ディスプレイアワード

(1) 募 集

① 募集対象

日本全国に所在する大学の2023年3月卒業予定者の卒業設計・制作作品で、空間ディスプレイに関わるものを対象に募集を開始した。

② 募集開始

2022年9月 表彰事業募集要項を財団ホームページに掲載

③ 応募時期

2023年3月30日 エントリー締切

同年 4月14日 応募締切

④ 応募件数

36件

⑤ 選考経過

2023年6月10日、財団表彰事業選考委員会にて、最優秀賞1作品、優秀賞4作品、奨励賞4作品の受賞が内定し、同年7月12日、議員会および理事会にて承認された。

(2) 採 用

最優秀賞 1作品 40万円

優秀賞 4作品 各25万円

奨励賞 4作品 各15万円

## 乃村文化財団2023表彰事業 NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

審査結果	区分	作品テーマ	受賞者氏名	大学
最優秀賞	Ⅲエンターテインメント・ディスプレイデザイン	有楽町アンダーグラウンド	稲葉 渉	東洋大学
優秀賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	人と野生動物の共存という課題に向けた中山間地域の提案	橋本 歩佳	京都女子大学
優秀賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	都市のアジール	山岡敬汰	大同大学
優秀賞	Ⅱ生活ディスプレイデザイン	しあわせな家族の解体方法	番屋愛香里	大同大学
優秀賞	Ⅲエンターテインメント・ディスプレイデザイン	Self-cognition	HE ZHAO	多摩美術大学
奨励賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	時代を繋ぐ600mの「共」的建築 - 带状生活圏をもつ新湊の新たなインフラ計画-	棚田悠介	東京電機大学
奨励賞	Ⅱ生活ディスプレイデザイン	都市の骨核	太古尚稀	東京電機大学
奨励賞	Ⅳ都市ディスプレイデザイン	流動する余薫	真塩凌弥	東京電機大学
奨励賞	Ⅰ商業ディスプレイデザイン	snapshot	藤原 匠吾	多摩美術大学

### (3) 授与

2023年7月12日、表彰状の授与式が執り行われた。授与式には、受賞した9作品9名全員が出席し、財団理事長より表彰状が授与され、7月28日、受賞者出身大学へ賞金が授与された。

### (4) 次回募集開始

- ① 対象 2024年3月卒業生の卒業設計制作作品
- ② 募集開始 2023年9月より財団ホームページにおいて、次年度の表彰事業募集要項の公開を開始
- ③ エントリー締め切 2024年3月15日
- ④ 応募受付期間 2024年3月15日～4月2日

#### 4. 助成金および表彰事業の広報活動

2023年7月より、財団ホームページに募集要項を順次公開、9月にチラシの配布、対象機関へのメールによる案内通知等を行った。更に、公益財団法人日本博物館協会 HP および日本ミュージアムマネジメント (JMMA) 学会 HP への募集概要掲載など外部団体を通じて広報活動をおこなった。